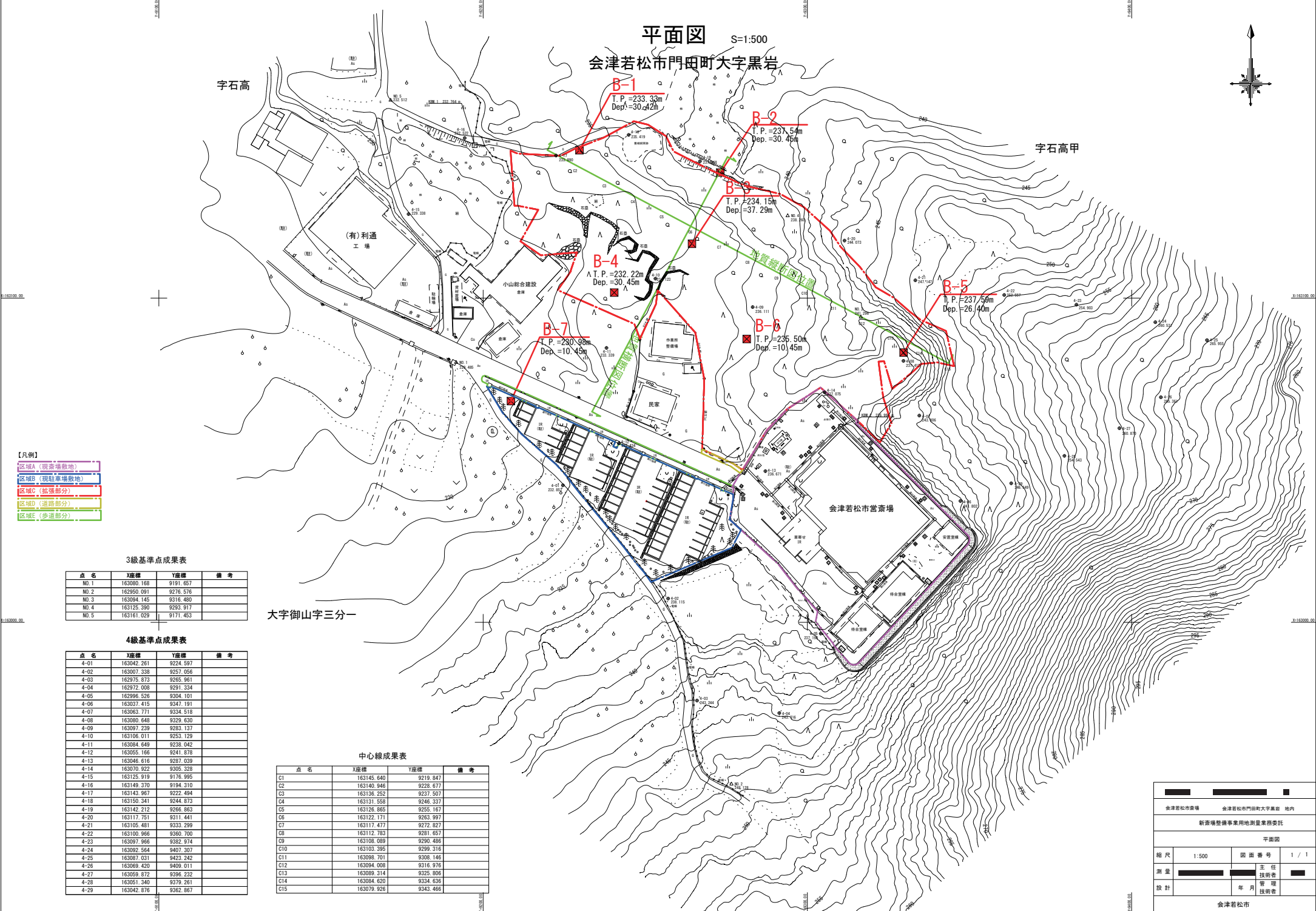




土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

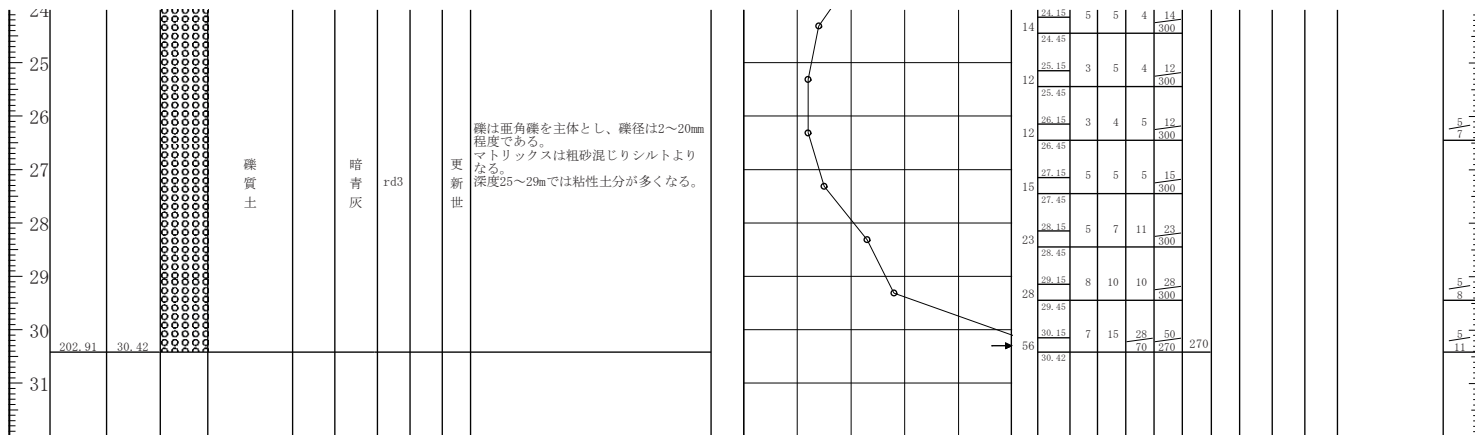
調 査 名 第2126号 新斎場整備事業地質調査業務委託

事業名 または 工事名 地質調査

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	B-1		調査位置	福島県会津若松市門田町大字黒岩 地内						北緯	37° 28′ 11.59″			
発注機関	福島県会津若松市					調査期間	2026年 4月 20日 ~ 2026年 5月 11日				東経	139° 56′ 16.05″		
調査業者名	[redacted]		主任技師	[redacted]		現場代理人	[redacted]		コ鑑定者	[redacted]		ボーリング責任者	[redacted]	
孔口標高	T. P. 233.33m		角 度 180° 90° 0° 上下	方 位 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	地盤勾配 鉛直 90° 18°	使用機種	試錐機 KR-100HB							
総削孔長	30.42m					エンジン	NFD-10		ポンプ	V-5P				

[illegible]



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

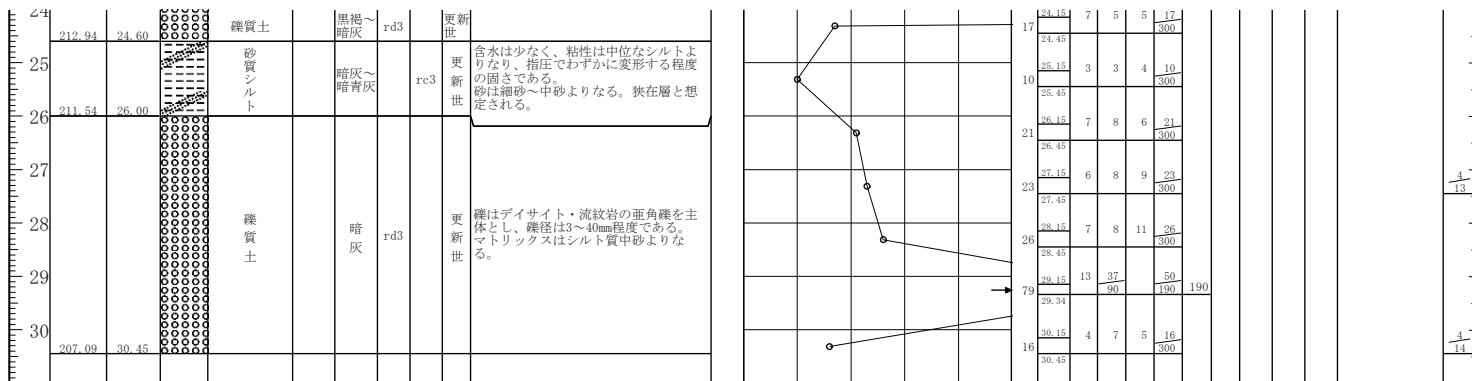
調 査 名 第2126号 新斎場整備事業地質調査業務委託

事業名 または 工事名 地質調査

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	B-2		調査位置	福島県会津若松市門田町大字黒岩 地内						北緯	37° 28′ 11.59″			
発注機関	福島県会津若松市					調査期間	2026年 3月 27日 ~ 2026年 4月 14日				東経	139° 56′ 16.05″		
調査業者名	[redacted]		主任技師	[redacted]		現代理人	[redacted]		コア鑑定者	[redacted]		ボーリング責任者	[redacted]	
孔口標高	T. P. 237.54m		角 180° 90° 0° 上下	方位 北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配 鉛直 90° 18°	使用機種	試験機 KR-100HB							
総削孔長	30.45m						エンジン		NFD-10		ポンプ	V-5P		

標尺	標高	深度	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記号	孔内水位／測定月日	標準貫入試験							試料採取			室内位置試験	削孔月日				
												深度-N値図				N値	深度(m)	100mmごとの打撃回数			50回の貫入量			自沈時の貫入量	深度(m)	試験番号	採取方法
												0~100	100~200	200~300													
1	236.54	1.00		礫質土		黒褐	rd2	更新世	礫は亜角礫を主体とし、礫径は5~40mm程度で礫種多様である。マトリックスは細砂~粗砂で不均質である。	04/07 8.06		12	1.15	4	4	12	180							3/27			
2												83	2.15	9	41	50								3/30			
3				礫質土		赤褐	rd3	完新世	赤褐色を呈する硬質な流紋岩の角礫を主体とし、礫径は5~100mm程度、最大で250mm程度の棒状で採取される。マトリックスはシルト混じり中砂~粗砂よりなる。ところどころに空隙があり、不均質である。			15	3.15	5	5	5	15							3/31			
4												10	4.15	3	3	4	10										
5	231.94	5.60										14	5.15	3	3	8	14										
6												22	6.15	5	8	9	22							4/1			
7				礫質土		暗黄褐	rd3	完新世	礫はデイサイト・流紋岩の亜円礫・亜角礫を主体とし、礫径は5~100mm程度、最大で200mmの棒状に採取される。マトリックスはシルト混じり粗砂で、不均質である。			29	7.15	6	8	15	29										
8												38	8.15	19	14	5	38							4/2			
9												12	9.15	3	4	5	12										
10	227.54	10.00										17	10.15	5	5	7	17							4/6			
11				礫混じりシルト		暗黄褐／暗灰	rc3	完新世	含水は少なく、粘性は中位なシルトよりなり、指圧でわずかに変形する程度の固さである。礫は亜角礫を主体とし、礫径は2~20mm程度である。			8	11.15	3	2	3	8										
12												13	12.15	3	4	6	13										
13	224.04	13.50										9	13.15	2	4	3	9							4/7			
14												34	14.15	12	11	11	34										
15				礫質土		暗緑灰	rd3	完新世	礫は凝灰岩のくされ礫・デイサイトの亜角礫を主体とし、礫径は2~30mm程度である。マトリックスはシルト混じり中砂~粗砂よりなり、不均質である。			10	15.15	3	3	4	10										
16												19	16.15	4	6	9	19										
17												10	17.15	3	3	4	10							4/8			
18	219.64	17.90										15	18.15	6	5	4	15										
19												68	19.15	3	44	3	50	220									
20												12	20.15	4	4	4	12							4/9			
21				礫質土		黒褐／暗灰	rd3	更新世	礫はデイサイト・流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は3~40mm程度である。マトリックスは中砂~粗砂混じりシルトよりなる。全体的に有機質を呈し、木片を多く含む。深度23.0~23.4mは巨礫である。			14	21.15	3	2	9	14										
22												15	22.15	5	5	5	15										
23												17	23.00	0			50							4/10			
24	212.94	24.60		砂質シルト		暗灰~黒	rc3	更新世	含水は少なく、粘性は中位なシルトよりなり、指圧でわずかに変形する程度の固さである。マトリックスはシルト混じり粗砂で、不均質である。			17	24.15	7	5	5	17										



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

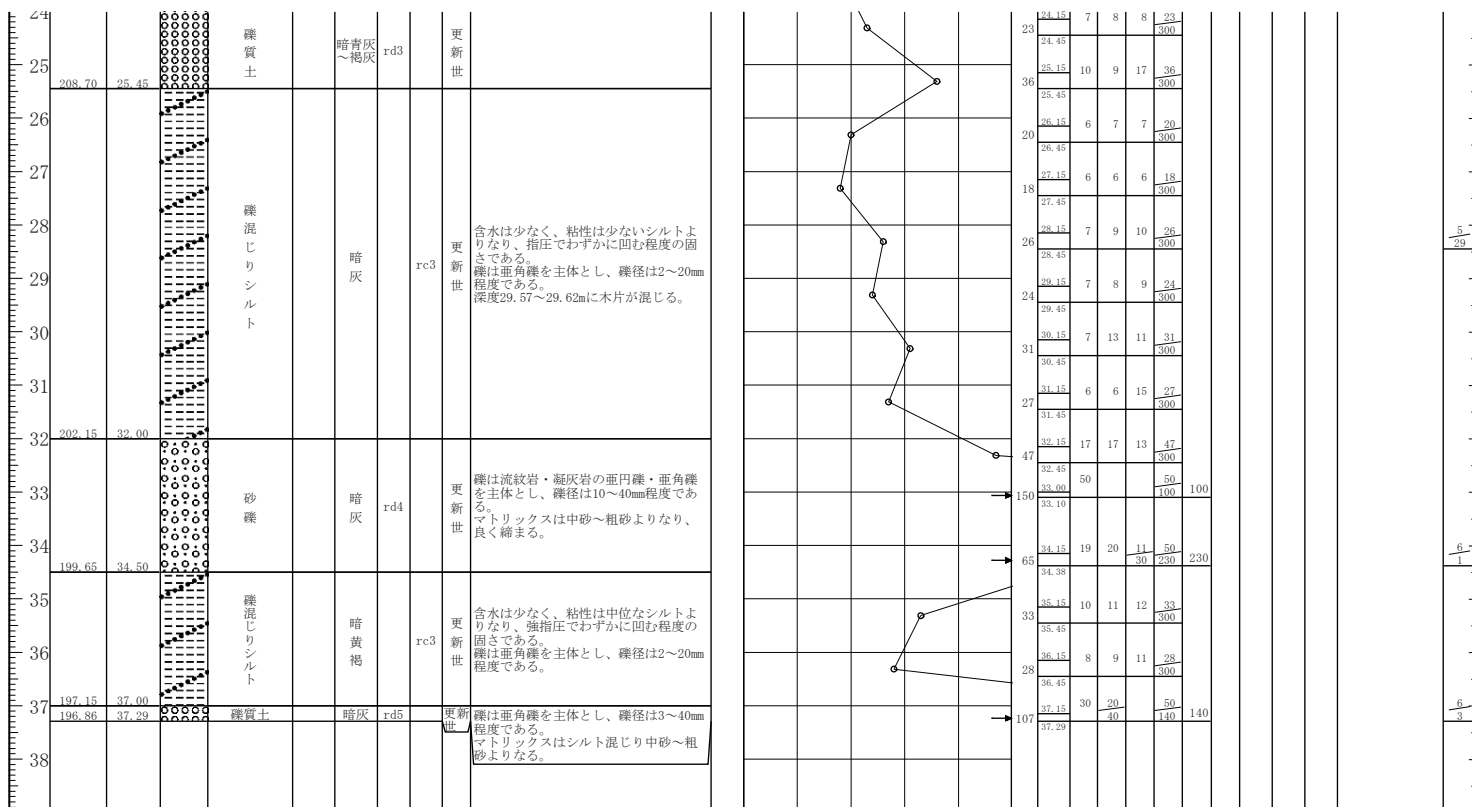
調 査 名 第2126号 新斎場整備事業地質調査業務委託

事業名 または 工事名 地質調査

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名		B-3		調査位置		福島県会津若松市門田町大字黒岩 地内				北 緯		37° 28' 11.80"									
発 注 機 関		福島県会津若松市				調査期間		2026年 5月 21日 ~ 2026年 6月 3日				東 経		139° 56' 16.38"							
調 査 業 者 名		[redacted]		主任技師		[redacted]		現 場 代 理 人		[redacted]		コ ア 監 定 者		[redacted]		ボーリング責任者		[redacted]			
孔 口 標 高		T. P. 234.15m		角 度		180° 上下 90° 0°		方 位		北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°		地盤勾配		鉛直 水平0° 90° 3°		使用機種		試 錐 機		KR-100HB	
総 削 孔 長		37.29m		エ ン ジ ン		NFD-10				ポン プ		V-5P									

[illegible]



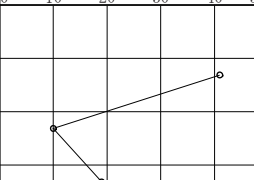
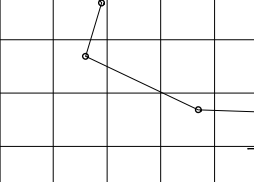
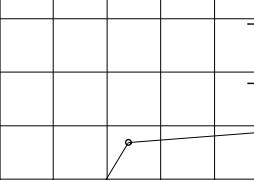
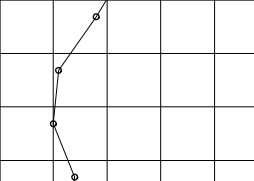
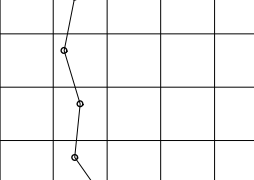
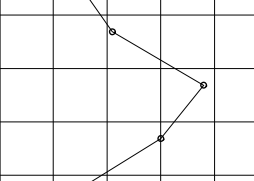
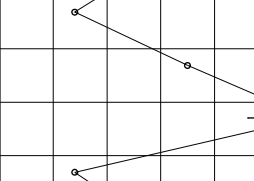
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

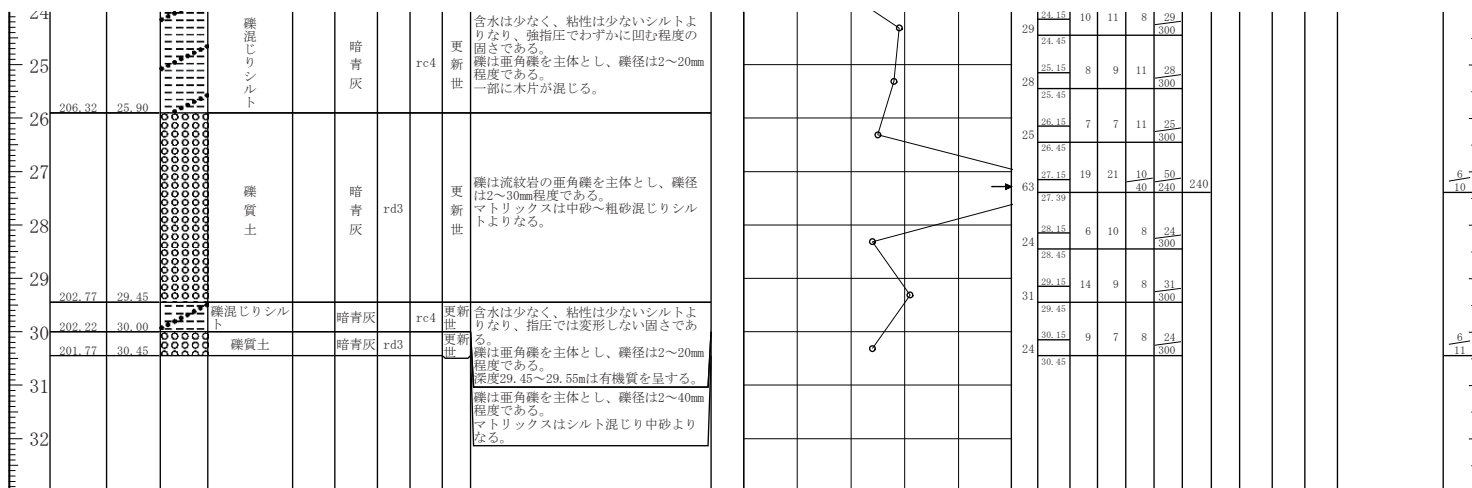
調査名 第2126号 新斎場整備事業地質調査業務委託

事業名 または 工事名 地質調査

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	B-4		調査位置		福島県会津若松市門田町大字黒岩 地内						北緯		37° 28′ 11.80″						
発注機関	福島県会津若松市					調査期間		2026年 5月 26日 ～ 2026年 6月 11日				東経		139° 56′ 16.38″					
調査業者名	[redacted]			主任技師		[redacted]		現場代理人		[redacted]		コア定者		[redacted]		ボーリング責任者		[redacted]	
孔口標高	T. P. 232.22m		角 度		方位		地盤勾配		使用機種	試錐機 KR-100HB									
総削孔長	30.45m									エンジン				NFD-10		ポンプ		V-5P	

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記号	孔内水位／測定月日	標準貫入試験						試料採取		室内位置試験	削孔月日									
												深度-N値図		N値	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量			深	試料番号	採取方法						
(m)	(m)	(m)										深度-N値図		N値	深	0	100	200	300	100	200	300		(m)	号	法	試験	日		
1				礫質土		暗黄褐 暗赤褐	rd3		完新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は3～40mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			41	1.15	20	10	11	41												
2				礫質土		暗黄褐 暗赤褐	rd3		完新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は3～40mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			10	1.45	2	2	6	10												
3	228.77	3.45		礫質土		暗黄褐 暗赤褐	rd3		完新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は3～40mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			19	3.15	4	4	11	19												
4				礫質土		赤褐	rd4		完新世	赤褐色を呈する流紋岩の硬質な亜角礫を主体とし、礫径は5～100mm、最大で530mm程度の棒状に採取される。 マトリックスは中砂～粗砂よりなり、不均質である。			16	4.15	8	5	3	16												
5				礫質土		赤褐	rd4		完新世	赤褐色を呈する流紋岩の硬質な亜角礫を主体とし、礫径は5～100mm、最大で530mm程度の棒状に採取される。 マトリックスは中砂～粗砂よりなり、不均質である。			37	5.15	9	10	18	37												
6				礫質土		赤褐	rd4		完新世	赤褐色を呈する流紋岩の硬質な亜角礫を主体とし、礫径は5～100mm、最大で530mm程度の棒状に採取される。 マトリックスは中砂～粗砂よりなり、不均質である。	06/04 6.50		250	6.00	50	60	50	60												
7				礫質土		赤褐	rd4		完新世	赤褐色を呈する流紋岩の硬質な亜角礫を主体とし、礫径は5～100mm、最大で530mm程度の棒状に採取される。 マトリックスは中砂～粗砂よりなり、不均質である。			214	7.05	50	70	50	70												
8				礫質土		赤褐	rd4		完新世	赤褐色を呈する流紋岩の硬質な亜角礫を主体とし、礫径は5～100mm、最大で530mm程度の棒状に採取される。 マトリックスは中砂～粗砂よりなり、不均質である。			167	8.15	50	90	50	90												
9	223.22	9.00		礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			24	9.15	11	8	5	24												
10				礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			18	10.15	5	5	8	18												
11	220.62	11.60		礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			11	11.15	4	4	3	11												
12				礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			10	12.15	3	3	4	10												
13				礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			14	13.15	5	5	4	14												
14				礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			12	14.15	3	3	6	12												
15				礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			15	15.15	3	5	7	15												
16				礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			14	16.15	4	5	5	14												
17	215.22	17.00		礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			21	17.15	6	7	8	21												
18				礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			38	18.15	6	9	23	38												
19				礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			30	19.15	8	12	10	30												
20				礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			14	20.15	4	5	5	14												
21				礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			35	21.15	8	12	15	35												
22				礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			58	22.15	14	21	15	50	260											
23	208.52	23.70		礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			14	23.15	4	4	6	14												
24				礫質土		暗青灰 暗灰	rd3		更新世	礫は流紋岩の亜角礫を主体とし、礫径は2～30mm程度である。 マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。			29	24.15	10	11	8	29												



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

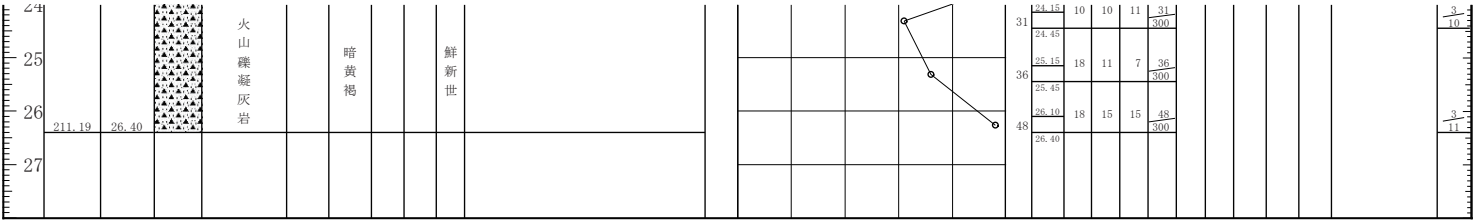
調 査 名 第2126号 新斎場整備事業地質調査業務委託

事業名 または 工事名 地質調査

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボ—リング 名		B-5		調査位置		福島県会津若松市門田町大字黒岩 地内				北 緯		37° 28′ 10.41″							
発 注 機 関		福島県会津若松市				調査期間		2026年 2月 26日 ~ 2026年 3月 11日				東 経		139° 56′ 19.27″					
調 査 業 者 名		[redacted]		主任技師		[redacted]		現 場 代 理 人		[redacted]		コ ー 鑑 定 者		[redacted]		ボ—リング 責 任 者		[redacted]	
孔 口 標 高		T. P. 237.59m		角		180° 上下 90° 0°		方 位		北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°		地盤勾配		鉛直 水平0° 90° 18°		使用機種		試 錐 機 KR-100HB	
総 削 孔 長		26.40m		度		0°		位								エ ン ジ ン		NFD-10	
																ポ ン プ		V-5P	

[illegible]

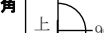
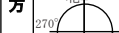


土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 第2126号 新斎場整備事業地質調査業務委託

事業名 または 工事名 地質調査

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	B-6		調査位置	福島県会津若松市門田町大字黒岩 地内					北緯	37° 28' 11.59"	
発注機関	福島県会津若松市				調査期間	2026年 5月 13日 ~ 2026年 5月 18日			東経	139° 56' 16.05"	
調査業者名	[redacted]		主任技師	[redacted]		現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	T. P. 235.50m	角 	方位		地盤勾配		使用機種	試錐機 KR-100HB			
総削孔長	10.45m		度	位			エンジン	NFD-10	ポンプ	V-5P	

[illegible]

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 第2126号 新斎場整備事業地質調査業務委託

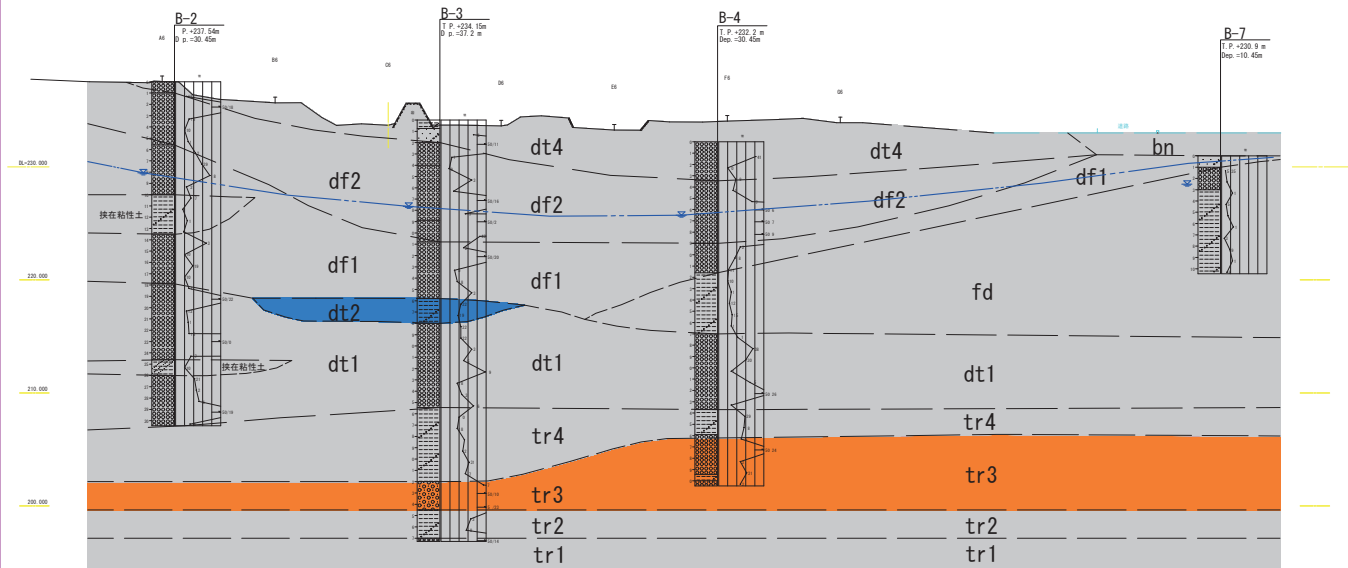
事業名 または 工事名 地質調査

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	B-7	調査位置	福島県会津若松市門田町大字黒岩 地内	北緯	37° 28′ 11.59″
発注機関	福島県会津若松市	調査期間	2026年 5月 15日 ~ 2026年 5月 20日	東経	139° 56′ 16.05″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ定者		ボーリング責任者			
孔口標高	T. P. 230.98m	角	180° 上下 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°
総削孔長	10.45m	地盤勾配	鉛直 90° 3°	使用機種	試験機 KR-100HB エンジン NFD-10
				ポンプ	V-5P

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位／測定月日	標準貫入試験						試料採取		室内位置試験	削孔月日
												深度-N値図	N	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	試料採取番号	
													値	(m)	0	100	200				
1	229.98	1.00	礫混じり砂	礫混じり砂		暗褐～黄褐	rd2	完新世		砂は細砂～粗砂よりなり、不均質である。礫は角礫・亜角礫を主体とし、礫径は5～30mm程度で礫種多様である。表層に草根が混じる。			4	1.15	3	1	1	5	350		
2			礫質土	礫質土		暗黄褐		rc2	完新世	礫は亜角礫を主体とし、礫径は3～30mm程度で礫種多様である。マトリックスはシルト混じり中砂～粗砂よりなる。深度2.00～2.45mにビニールが混じる。	05/19 2.50		6	2.15	2	2	2	6	300		5/15
3	227.98	3.00											12	3.15	5	4	3	12	300		
4													5	4.15	1	2	2	5	300		
5													7	5.15	2	2	3	7	300		5/18
6						暗黄褐 / 暗青灰	rd2	完新世		含水は中位で粘性は弱いシルトよりなり、指圧で変形する程度の固さである。礫は亜円礫・亜角礫を主体とし、礫径は2～20mm程度である。			13	6.15	4	4	5	13	300		
7													3	7.15	1	2		3	300		
8													9	8.15	3	3	3	9	300		5/19
9													12	9.15	4	4	4	12	300		
10	220.53	10.45											6	10.15	1	2	3	6	300		5/20
11														10.45							

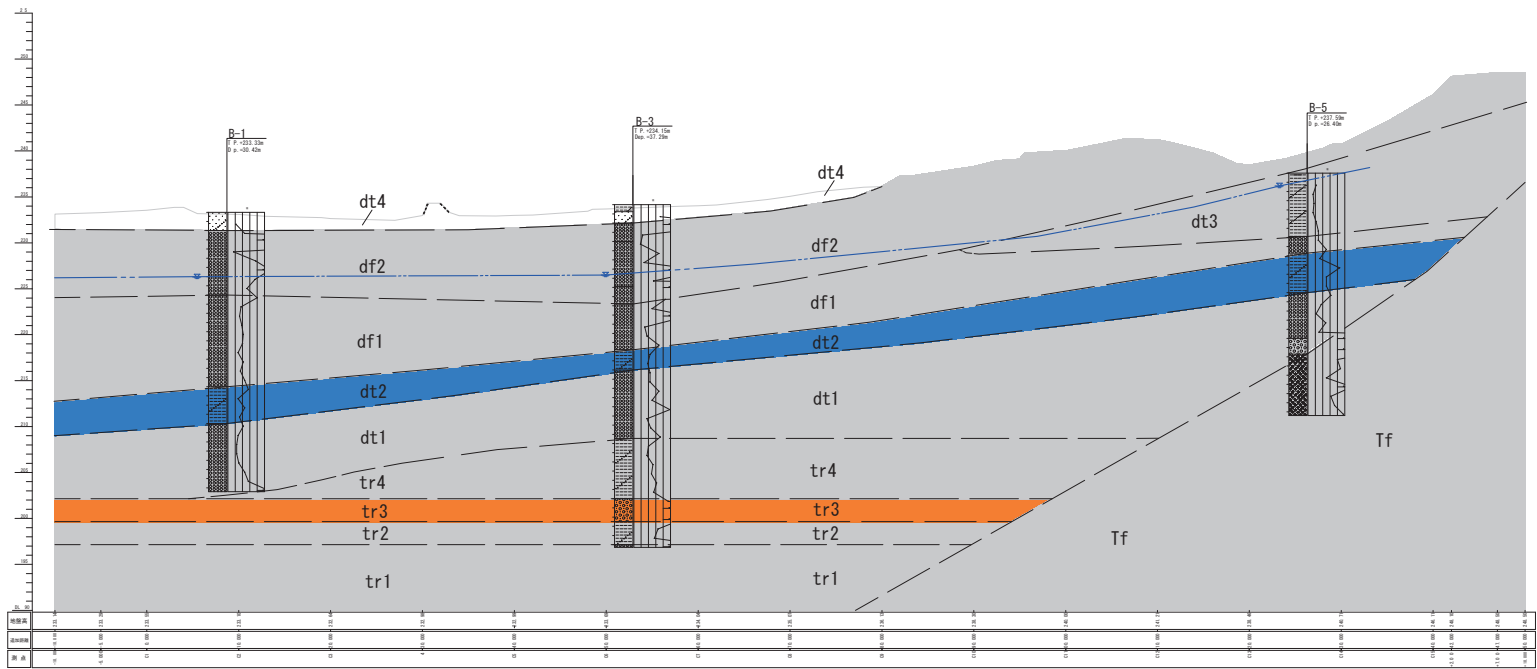
地質横断図 No. 6



地質凡例

地質年代	地質名	土質名	記号	地質・記事
完新世	埋土	礫混じり砂	bn	・ 道路、敷地造成時の埋め土。 ・ ボーリングコアには深度1.5mまでビニール片や針金等が混入する。
	崩積土	礫混じり砂	dt4	・ 最上位の崩積土層で、対象地を層厚1～3m程度で被覆する。 ・ 建屋計画位置で層厚が最も厚く、3m程度である。 ・ 砂は中砂～粗砂。礫は流紋岩の角礫を主体とする。
	岩屑なだれ堆積物	礫質土	df2	・ 対象地を広く被覆する岩屑なだれ堆積物である。 ・ 特徴的な赤褐～赤紫色の流紋岩の角礫からなる巨礫群。 ・ 非常に不均質で、最大コア長70cm程度で採取される。
	崩積土	礫混じりシルト	dt3	・ A2橋台計画側（出逢沢左岸）に分布する。 ・ 全体に淡緑色流紋岩質細粒凝灰岩で構成されている。 ・ 表層部は風化が進行し軟質である。
	岩屑なだれ堆積物	礫質土	df1	・ 対象地を広く被覆する岩屑なだれ堆積物である。 ・ df1より礫の割合は少なく、赤褐色の流紋岩を含まない。 ・ マトリックスは砂・シルトで、最大コア長は30cm程度。
	扇状地堆積物	礫混じりシルト	fd	・ 対象地南側の扇状地を構成する扇状地堆積物である。 ・ 扇状地の北端に当たり、B-4と-7のみで確認される。 ・ 含水は中位で粘性弱いシルトよりなり、指圧で変形する。
第四紀	崩積土	礫混じりシルト	dt2	・ 対象地の縦断方向に連続的に分布する崩積土砂。 ・ 横断方向での分布範囲は狭く、B-3以北と想定される。 ・ 指圧で変形する程度の固さで、流紋岩の角礫を含む。
		礫質土	dt1	・ 対象地に連続的に分布する崩積土砂。 ・ 非常に不均質で流紋岩の角礫を主体とする。 ・ 特徴的な赤褐色の流紋岩礫は含まない。
	段丘堆積物	礫混じりシルト	tr4	・ 対象地に連続的に分布する段丘堆積物。 ・ 堆積構造は水平と想定されるが、対処位置西側では未確認。 ・ 含水は少なく、指圧で僅かに変形する程度の固さ。
		砂礫	tr3	・ 対象地に連続的に分布する段丘堆積物。 ・ 堆積構造は水平と想定され、層厚は2m程度である。 ・ 凝灰岩の垂円礫、垂角礫を主体とし、マトリックスは砂。
		礫混じりシルト	tr2	・ 対象地に連続的に分布する段丘堆積物。 ・ 堆積構造は水平と想定されるが、ボーリングB-3のみで確認。 ・ 含水は少なく、指圧で僅かに変形する程度の固さ。
		礫質土	tr1	・ 対象地に連続的に分布する段丘堆積物。 ・ 堆積構造は水平と想定されるが、ボーリングB-3のみで確認。 ・ 礫は垂角礫を主体とし、マトリックスはシルト混じり砂。
	七折坂層	火山凝灰岩	Tr	・ 東側山麓部のB-5のみで確認される。 ・ 軟岩に相当する。亀裂多く密着し、全体に軟質な印象。 ・ 固結の程度は低く、25m以深は土砂状に採取される。

地質縦断図



地質凡例

地質年代	地質名	土質名	記号	地質・記事
完新世	埋土	礫混じり砂	bn	・道路、敷地造成時の埋め土。 ・ボーリングコアには深度1.5mまでビニール片や針金等が混入する。
	前積土	礫混じり砂	dt 4	・最上位の前積土層で、対象地を層厚1～3m程度で被覆する。 ・建築計画位置で層厚が最も厚く、3m程度である。 ・砂は中砂～粗砂、礫は流紋岩の角礫を主体とする。
	岩質なだれ堆積物	礫質土	df 2	・対象地を広く被覆する岩質なだれ堆積物である。 ・特徴的な赤褐～赤紫色の流紋岩の角礫からなる巨礫群。 ・非常に不均質で、最大コア長70cm程度で採取される。
	前積土	礫混じりシルト	dt 3	・A2橋合計画側（出逢沢左岸）に分布する。 ・全体に淡緑色流紋岩質細粒凝灰岩で構成されている。 ・表層部は風化が進行し軟質である。
	岩質なだれ堆積物	礫質土	df 1	・対象地を広く被覆する岩質なだれ堆積物である。 ・df1より礫の割合は少なく、赤褐色の流紋岩を含まない。 ・マトリックスは砂・シルトで、最大コア長は30cm程度。
	扇状地堆積物	礫混じりシルト	fd	・対象地南側の扇状地を構成する扇状地堆積物である。 ・扇状地の北端に当たり、B-4と7のみで確認される。 ・含水は中位で粘性弱いシルトよりなり、指圧で変形する。
	前積土	礫混じりシルト	dt 2	・対象地の縦断方向に連続的に分布する前積土砂。 ・横断方向での分布範囲は狭く、B-3以北と想定される。 ・指圧で変形する程度の固さで、流紋岩の角礫を含む。
		礫質土	dt 1	・対象地に連続的に分布する前積土砂。 ・非常に不均質で流紋岩の角礫を主体とする。 ・特徴的な赤褐色の流紋岩礫は含まない。
		礫混じりシルト	tr 4	・対象地に連続的に分布する段丘堆積物。 ・堆積構造は水平と想定されるが、対照位置西側では未確認。 ・含水は少なく、指圧で僅かに変形する程度の固さ。
		砂礫	tr 3	・対象地に連続的に分布する段丘堆積物。 ・堆積構造は水平と想定されるが、ボーリングB-3のみで確認。 ・礫は垂角礫を主体とし、マトリックスは砂。
更新世	段丘堆積物	礫混じりシルト	tr 2	・対象地に連続的に分布する段丘堆積物。 ・堆積構造は水平と想定されるが、ボーリングB-3のみで確認。 ・含水は少なく、指圧で僅かに変形する程度の固さ。
		礫質土	tr 1	・対象地に連続的に分布する段丘堆積物。 ・礫は垂角礫を主体とし、マトリックスはシルト混じり砂。
		火山噴出凝灰岩	Tf	・東側山麓部B-5のみで確認される。 ・軟岩に相当する。亀裂多く密着し、全体に軟質な印象。 ・固結の程度は低く、25m以深は土砂状に採取される。
	七折板層	火山噴出凝灰岩	Tf	